

■石川倉次 日本点字の父。思わぬことから訓導院に入り、プライユが発明した点字を知るや、一気に日本語向け点字を開発。

いしかわくらじ

安政の大獄・1859＝ 浜松で生まれる。

桜田門外変・1860＝ 1歳：

薩長同盟・1866＝ 7歳：妹が誕生。

大政奉還・1867＝ 8歳：

明治維新・1868＝ 9歳：藩主のお国替に従って上総国鶴舞に移住。

戊辰戦争終・1869＝10歳：弟が誕生。

廃藩置県・1871＝12歳：上総国鶴舞藩克明館に入学，

明治6年政変 1873＝14歳：千葉県鶴舞小学校に転入，

初の民間工場1875＝16歳：卒業し，水沼小学校に勤務。この年，手島精一が初めて(アメリカの)点字を紹介し教育用文字として勸奨。

三つの内乱・1876＝17歳：母が死去。父が銚子に移住。

西南戦争・1877＝18歳：依願退職し，

大久保暗殺・1878＝19歳：千葉師範学校に入学し，日記をつけ始める。

沖縄県編入・1879＝20歳：卒業し，南相馬郡鷲野小学校に勤務。

・1880＝21歳：千葉郡浜田小学校に移り，

明治14年政変1881＝22歳：結婚。「初学読本」を出版。父が銚子を永住の地とする。

新体詩抄・1882＝23歳：長男が誕生。

秩父事件・1884＝25歳：初めて銚子の父の家へ帰る。『かなの会で那加通世と間違っ小西信八に挨拶したのが縁で引立てられる。

内閣発足・1885＝26歳：長女が誕生。千葉県茂原小学校に転動。

帝国大学始・1886＝27歳：*小西から訓盲院に呼ばれ，妻も雇用される。小西は手島精一を訪ね，フランスのプライユ点字を知る。

国民之友始・1887＝28歳：東京盲哑学校助教諭兼書記となり，プライユ点字の日本の訓盲用への翻案を勧められる。

初の対等条約1888＝29歳：次男が誕生するも死去。『他のメンバーもそれぞれに工夫につとめては，評価する会議が開かれ，

帝国憲法発布1889＝30歳：義母がチブスとなり，家族全員感染して入院。義母は死去するが，他は無事退院。

帝国議会始・1890＝31歳：「幼稚のとも」を出版。次女が誕生。*第四回点字選定会で石川案の採用が決定し，文部省から賞金(後にこの日が点字記念日となる)。

大津事件・1891＝32歳：官報に掲載されて公式に認知され，京都市立盲哑学院も採用，抗争が回避されて急速に普及する。

大本教・1892＝33歳：三女が誕生。この頃から学校に留銀職人の滝緑松が入り出すようになり，

郡司千島探検1893＝34歳：妻の雇用が解かれ囑託となる。東京盲哑学校訓導に任じられる。

日清戦争始・1894＝35歳：銚子へ帰る。

日清戦争終・1895＝36歳：京都市立盲哑院に出張。四女が誕生。

白馬会・1896＝37歳：家督を相続。著書「会話入門」が台湾総督府買上げとなる。小西校長海外留学で事務代理。

八幡製鉄始・1897＝38歳：箱根遊覧。『滝緑松と輸入された点字印刷機を研究，その協力を得て，

子規句歌革新1898＝39歳：校長が帰国し，グラハム＝ベルが来校。五女が誕生。『懐中点字盤を製作。明盲共通字の再考開始。

Bushidou・1899＝40歳：東京高等師範学校教諭に任じられ訓導を兼務。

ピノ国産化・1900＝41歳：*『日本新聞』に明盲共通字投書掲載。フランス政府から日本点字考案の功績で金牌。

田中正造直訴1901＝42歳：東京盲哑学校教諭兼訓導。六女が誕生。単光旭日章。

教科書疑獄・1902＝43歳：福島・函館・札幌の訓盲院に出張を命じられ，花巻で開かれた夏季講習会の講師でも出張。

日比谷公園・1903＝44歳：千葉県教育会より表彰。パリ万国博出品に対し賞牌。友人と宇治山田・浜松を旅行。

日露戦争始・1904＝45歳：帝国教育会より委員委嘱。『イシカハタイプライター』が完成。

日露戦争終・1905＝46歳：富士登山。

満鉄発足・1906＝47歳：聾哑者用教案が文部省買上げ。全国聾哑者大会が開かれる。次女が死去。

韓国反日暴動1907＝48歳：全国盲哑教育大会が開かれる。

アヲヲ創刊・1908＝49歳：点字発明者ブレイユ生誕百年祭に出席。皇后が東京盲哑学校行啓で拝謁。長男が結婚。鎌倉へ家族旅行。

伊藤博文暗殺1909＝50歳：妻が退職し，長男が東京盲哑学校訓導に任じられる。長女が結婚。

韓国併合・1910＝51歳：東京聾哑学校教諭兼訓導兼東京盲学校教諭となる。長男が離縁して留学。

大逆事件判決1911＝52歳：『浜離宮の観桜会・赤坂離宮の観菊会』に招待される。「日本訓盲点字説明」を発行。

明治天皇没・1912＝53歳：点字発明記念会。浜離宮の観桜会に招待される。

大正政変・1913＝54歳：顔面を負傷し，銚子に帰省。

第一次大戦始1914＝55歳：長男が帰国。『訓盲点字工夫の功績』に帝国教育会功牌。

21ヶ条要求・1915＝56歳：妻が死去。三女・四女が結婚。

民本主義・1916＝57歳：長男が再婚。大礼記念章。

ロシア革命・1917＝58歳：長男が離縁。新宿御苑の観桜会に招待される。

本格政党内閣1918＝59歳：五女が結婚。父・長男と北海道旅行。

ベルリン条約・1919＝60歳：従五位。

大暴落・1920＝61歳：銚子へ帰省し財産相続の処理。

原敬首相暗殺1921＝62歳：長男が再々婚。日光旅行。

水平社結成・1922＝63歳：銚子の実家で失火一部焼失。六女連れ岩国へ旅行。

関東大震災・1923＝64歳：勲四等瑞宝章。父が病気になる度々帰省。大震災で学校警備。聾哑教科書編集委員。

護憲三派圧勝1924＝65歳：銚子に帰省。札幌の五女が重病となり見舞訪問。

治安維持法・1925＝66歳：退官し，従四位へ特進。なお東京聾哑学校講師をつとめる。盲教育五十周年記念祝賀会。

日本時代始・1926＝67歳：六女が結婚。『日本盲人用点字の起源』初稿。

金融恐慌・1927＝68歳：父が死去。

共産党事件・1928＝69歳：大礼記念章。『この頃から耳が遠くなり，

世界恐慌・1929＝70歳：『点字大阪毎日』に自叙伝。

海軍軍縮条約1930＝71歳：『浜松に建立された顕彰碑の除幕式』に出席して以降は外出も減じ

満州事変・1931＝72歳：長男が風邪で急死。小石川の新築の家に転居。

五一五事件・1932＝73歳：新宿御苑の観桜会・観菊会に招待される。

国際連盟脱退1933＝74歳：新宿御苑の観桜会に招待される。

芥川直木賞始1935＝76歳：三女が死去。

二二六事件・1936＝77歳：帝国盲教育会名誉会員。

日中戦争始・1937＝78歳：女婿と大島旅行。ヘレンケラー歓迎会に出席。日本聾哑教育会名誉会員。耳鳴りが強くなる。

第二次大戦始1939＝80歳：耳が殆ど聞こえなくなる。

大政翼賛会・1940＝81歳：『全日本盲人大会はじめ諸団体から表彰状・感謝状。』

・1942＝83歳：読売新聞から感謝状。

年金+総武装 1944＝85歳：群馬県安中に疎開し，まもなく『没した。』

伝記叢書「日本点字の父・石川倉次先生」，「目でみる日本人物百科」，